## ５　中間とりまとめ時点での検討結果

機能強化の方向性で整理したとおり、ソフト対策（＝長寿命化計画）で対応できる機能が一部あるものの、必要な機能は建替えによる再整備によって機能強化できる部分が多くを占めており、市場の公益性を維持し、効率的・効果的な市場運営により競争力のある市場となるためには、閉鎖型施設への対応を行い、コールドチェーンや高度な衛生管理が可能で、かつ保管加工機能の強化など、今後の社会の要請に応える機能強化が必要。

また、その整備費用の軽減のための民間資本活用の可能性については、他市場での検討が進んでおり、業界としてノウハウが蓄積されつつある状況である。本市場は、中央市場唯一の指定管理者制度を採用しており、成果を挙げている強みを活かした事業スキームの検討が、今後必要となってくる。